

キリスト者障害者通信

き
ぼ
うNo.85
2025.7.1

〒672-8045 姫路市飾磨区中野田四一六三三八
 特定非営利活動法人兵庫共励会
 振替 〇七九一二三五八八一八
 FAX 〇七九一二三五八一〇一六
 〇七九一二三五八一〇一六
 印刷所 吉田裕恵
 発行所 新生会作業所

「主に愛されている者たちへ」



土井栄子 牧師

日本基督教団「活水の群」

福崎教会 朝来教会

牧師 土井 栄子

「ヨハネの福音書11章1節〜26節」

私は生まれた時、生きるか死ぬかの病弱な赤ちゃんだったそうですが、「この病氣は死ぬほどのものではない。それは神の栄光のため、また、神の子がそれによって栄光を受けるためのものである。」(ヨハネ11:4)とのみことばから「栄子」と名付けて頂き、今もまだ生かされています。実は、私に「栄子」と名付けて下さったのが、共励会の前理事長の、廣田守男師です。

私は物心ついた頃から両親に連れられて姫路福音教会に通い、幼いながらに祈りの生活を送り、何の疑いもなく神さまの存在を信じ、小学4年生の時に受洗しました。しかし、高

校生の頃から「私は救われているのだろうか」と疑問を抱くようになりました。なぜなら、受洗しても苦しみや悲しみ、悩みや病氣がなくなる訳ではなく、人の目を気にしてクリスチャン「らしく」生きる偽善者だったからです。いつも生き辛さを感じており、「救ってなんやねん!」と神さまに訴え続けていました。本当に救われているならば「救いの確信」を与えて下さいと祈っていると、私は社会人2年目でうつ病になってしまったのです。助けを求めて祈っているのに、神さまに見捨てられ、神さまに愛されていないかのようには思えるほど、今までに経験したことのない孤独を味わい、生きることさえ疲れ果ててしまいました。そんな時、「疲れた人、重荷



一日研修会集合写真

を負うて苦勞している人はわたしのもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。」(マタイ11・28) のみことばを思い出し、教会に行くと、聖書が語る「罪人」とは「私」のことであつたこと、「罪」と「孤独」の中を生きる私を命がけで愛し、赦し、私の罪のために十字架で死に、よみがえって下さった神の愛に心が満たされたのです。イエス・キリストを心に迎えた時、キリストが今も生きて私と共におられるという「救われた喜び」が与えられたのです(ガラテヤ人への手紙二章二〇節)。

福岡教会に遣わされた私は、ある一人の女性に出会いました。彼女は高齢で一人暮らし、尚且つ「全盲」の方でした。彼女は、共励会のメンバーであられた石田朝子さんです。私は彼女のことを気がかりで、いつも家庭訪問をさせて頂いていたのですが、彼女は私の心配をよそに、「神様がいつも共にいて守っていて下さるから、私は何一つ不自由がないの。」と仰られ、いつも「光」の中を歩んでおられる、「賛美」と「祈り」の人でした。しかし以前は、「生きることがこんなに辛いなら、自殺しよう。」と思っておられたそうです。けれどもその日の夜、雷のような大きな音がし、「朝子！よしなさい！わたしはあなたが母の胎に居る時から、あなたのことを知っている。わたしがあなたを守るから絶対

に死んではいけない。わたしが必ず守るから、生きなさい。」と、大きな声が聞こえたそうです。それから、当時、よく聞いておられたキリスト教のラジオメッセージで語られた父なる神様の存在を思い出し、母の胎に居る時から、私のことを知って下さっている方は、この方かもしれない。と、その日から、「父なる神に祈る」という生活が始まり、イエス・キリストに出会われたのです。(石田朝子さんは2020年11月13日に召天されました)

私たちは病気になる、神さまに愛されていないのではないかと感じてしまうことがあるかもしれませんが、しかし、この箇所で教えられたことは、「あなたが愛しておられる者が病氣です。」(3節)とあるように、病氣であつたラザロは主に愛されていたのです。つまり、私たちは、病氣である前に、まず、主に愛されている存在なのです。さらに、注目したいことは、「イエスは、ラザロが病氣であると聞いてからも、なお二日、そのおられた所に滞在された」ことです。イエスさまが本当にラザロを愛しているならば、「ラザロが病氣である」と聞いてすぐ駆けつけた」と言つて欲しいところ。しかし、そうではなく、なお二日もとどまられたのです。そして、愛するラザロが死んだ時も、「あなたがたのため、あなたが信じるためには、わたしがその場に居合わせなかつたことを喜ぶ」と、理解出来ないことが

が続きます(15節)。本当に愛しているなら、なぜ早く助けに来てくれないのか！と、私たちはイエスの愛を疑い、イエスの「時」が遅いと感ずることもあります(21節)、しかし、イエスはラザロをよみがえらされました。ラザロのよみがえりの奇跡を通して、イエス・キリストこそ神である「しるし」が与えられたのです。神さまは、すべての営みに「時」を備え、私たち一人一人の人生においても、「神の栄光」が現わされる最善の「時」と「方法」を備えて下さっているお方なのです(伝道者の書3・11)。目に見えることだけに囚われず、主の愛とご計画に信頼し、共に、キリストの栄光を見せて頂きましょう。「信じる者は神の栄光を見る。」(40節)



一日研修会会場

2024年度 事業報告書

1 事業概要

特定非営利活動法人として事業開始して11年目の歩みを進めてきました。

法人の目的は、兵庫県に在住する障がい者と共に励まし合う事を通して、生き甲斐作りと豊かな生活作りを目指す事となっています。2024年度は新型コロナウイルス感染症の恐れが軽減したため、50周年記念事業など、計画していた活動を全て開催することができました。

また、法人を継続してゆくために、新たな障がい者への支援事業の企画をし、遺贈を受けた財源を生かして行く事、会員の増強を図るための方策に取り組む事が出来、次年度に具体的な活動へと繋いで行きます。

2 事業報告

計画に掲げた事業について、理事会で議論を重ね、実施することができました。

- (1) 研修会は一日研修会を定期総会と同日に開催し、第3代目の理事長に吉田裕恵理事が選任されました。
- (2) 50周年記念事業として発行した、「50年記念誌」の配布をしました。また、10月に時田直也チャリティーコンサートを開催する事が出来ました。
- (3) バス旅行は、須磨シーワールドに行き、楽しい一日を過ごし、良き交流が出来ました。
- (4) ランチョンは偶数月の第2金曜日に日本キリスト教団神戸聖愛教会で、昼食の後、講師からお話を聞いて交流の時を持つ会を4回開催する事ができました。
- (5) 機関紙の発行は、7月と12月に各300部を発行し、会員などに配布いたしました。
- (6) 会員宅、福祉施設、病院訪問
久しぶりに、エスコート船場に入所されている、兄・姉を10月に訪問する事が出来ました。
- (7) 相談 特に特別な場は設定しませんでした。ランチョンの交流時等に相談する時を持ちました。

3 総会及び理事会報告

定期総会 2024年6月13日

理 事 会 2024年 4月18日・6月13日・7月11日・9月5日・10月31日

2025年 1月9日・3月27日

会場は、全て明石市生涯学習センター会議室 7回開催しました。

4 特定非営利活動に係わる事業

定款の 事業名	プロジェクト内容	実 施 月 実施回数	実施場所	対象者	収益
障がい者への 支援事業	研修会	5月	明石市生涯学習センター	障がい者・支援者 19名	65,000円
	バス旅行	3月	須磨シーワールド	障がい者・支援者 24名	
	ランチョン交流会	4・8・11・2月 4回	神戸聖愛教会	障がい者・支援者 延べ46名	
	機関紙発行	7月 12月 2回		機関誌 障がい者・支援者 600名	0円
	会員宅・福祉施設・ 病院訪問	1回	エスコート船場	障がい者・支援者 2名	0円
	相談	適宜			

5 その他の事業

不動産の賃貸事業					3,784,892円
----------	--	--	--	--	------------

特定非営利活動法人兵庫共助会

2024年度活動決算書

2024年 4 月～2025年 3 月

(単位：円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合 計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	66,000		66,000
賛助会員受取会費	53,000		53,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	42,444		42,444
3. 受取助成金等			
受取地方公共団体助成金			
受取民間助成金	80,000		80,000
4. 事業収益			
集会参加費等	65,000		65,000
不動産貸付業収益		3,784,284	3,784,284
5. その他収益			
受取利息	234	608	842
雑収益			
経常収益計	306,678	3,784,892	4,091,570
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	0	0	0
法定福利費	0	0	0
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
講師謝金	40,051		40,051
消耗品費	6,821		6,821
印刷費	129,245		129,245
通信費	80,030		80,030
訪問費	3,620		3,620
会場費	17,000		17,000
諸集会開催費	619,308		619,308
雑費	262,917		262,917
その他経費計	1,158,992	0	1,158,992
事業費計	1,158,992	0	1,158,992
2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当			
法定福利費			
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
消耗品費	16,856		16,856
印刷費	5,795		5,795
通信費	8,974		8,974
旅費交通費	0		0
光熱水費・ビル管理委託費・税理士顧問報酬等	0	523,482	523,482
保険料	7,844		7,844
会議費	75,500		75,500
租税公課	0	709,477	709,477
雑費(慶弔費等)	14,754	3,960	18,714
減価償却	0	868,562	868,562
その他経費計	129,723	2,105,481	2,235,204
管理費計	129,723	2,105,481	1,366,642
経常費用計	1,288,715	2,105,481	3,394,196
当期経常増減額	△ 982,037	1,679,411	1,565,936
経理区分振替額	2,000,000	△ 2,000,000	
当期正味財産増減額	1,017,963	△ 320,589	697,374
前期繰越正味財産額	7,370,632	29,044,904	36,415,536
次期繰越正味財産額	8,388,595	28,724,315	37,112,910

須磨シーワールドの思い出

日本基督教団神戸愛生伝道所

信徒 栗 林 加津代



始めは、今はキリストが受難をお受けになった「レント」の時のなのに、遊びに行っても良いのかって思いました。

共励会の人たちと行くから、まあええかと思いましたが。

須磨シーワールドに着いて、見慣れた皆さんと再会しました。

アジアから来ている介護施設の研修生のお二人が、私の介助をほとんどしてくださいました。

楽しみのお昼ご飯を美味しく済ませて、イルカとシャチのショーを見ました。ペンギンが泳いでいるのを始めて見ました。参加して良かったです。



栗林さんと研修生



シーワールドにて

初めて須磨シーワールドに行きました。

日本イエス・キリスト教団神戸中央教会

信徒 廣 畑 良 雄



須磨水族館だった時には何回も行ったことがありますでしたが、シーワールドになってからは初めて行きました。

水族館だった時は、イルカのショーだけでしたが、シャチのショーを始めて見ました。女の人がシャチの背中に乗って一緒に泳いで迫力があって良かったです。

シャチが水を尾びれでバシバシと観客席にかけて回りましたが、前の席でなかったのが大丈夫でした。昼食は神戸名物の「そばめし」を食べました。美味しかったです。

去年は淡路の人形浄瑠璃を見に行き、楽しかったです。

今回の旅行も良かったです。毎年のバス旅行を楽しみにしています。

「バス旅行に参加して」

日本基督教団網干教会

信徒 仲 森 恵 子



三月になっても肌寒く、バス旅行はどうかと気になりましたが、当日は温かく、穏や

かな春の日差しに恵まれました。兵庫共励会のバス旅行に誘っていただき、夫と共に参加しました。行先は「神戸須磨シーワールド」です。

1957年に開館した以前の神戸市立須磨水族館には度々行き、沢山の魚たちを見るのが楽しみでした。特に、わたしは入り口すぐの所に据えられた大水槽に圧倒され、いつまでも眺めていたのを思い出します。

このたび、2024年に民営化され、神戸須磨シーワールドが新たに開館されました。須磨の海岸に沿って「オルカスタディウム」「ドルフィンスタディウム」「アクアライズ」の3棟の大きな建物、ホテル、レストラン、駐車場などが海へと続く広大な敷地に建っていました。オルカスタディウムでは、西日本で唯一というオルカ（シャチ）のパフォーマンスが大迫力でした。大きな体が宙に舞う度に大量の水しぶきが、満席の観客席の7段目まで飛んできました。その体にトレーナーさんに乗せてプールの中を勢いよく泳いで回ったり、あるいはプールから上がって寝そべって見せたり、胸ビレを振ってバイバイしたりする姿は、とても可愛かったです。ドルフィンスタディウムのドルフィン（イルカ）のパフォーマンスは以前の水族館でも目玉となっていました。新しくなった今回も仲間たちと愛らしく、また華麗なパフォーマンス

ンスを披露してくれました。アクアライブは1階から4階まであって、大勢の方たちの後に並んでぞろぞろと行き巡りました。階段はなく、スロープなので、車椅子に乗ったまま、沢山の魚たちを見学できるようになっていました。

食事はレストラン以外に、屋外に数台のキッチンカーも用意されていて、私たちは屋外で風を感じながら、夫や友人たちと一緒に美味しく戴くことができました。

バス旅行には初めて参加させていただきました、お会いしたことがない方々が多かったですが、皆さん、気さくに話しかけてくださいました。

また、戸惑ったり、不便を感じられていた参加者にはすぐに声をかけて対応されるスタッフの皆さんの心遣いに心がホッリさせられました。神様に守られた楽しい日帰りバス旅行でした。有難うございました。



一日研修会集合写真

重篤な遺伝性疾患に対する 着床前遺伝学的検査について

日本基督教団北六甲教会

牧師 白井 進

本年の4月5日に東京で、標題の件について、日本産科婦人科学会主催の倫理審議会が開かれました。

兵庫共励会の所属する「全国キリスト教障害者団体協議会」にも参加依頼があり、参加しました。

8時間もの会議でしたので、詳しい内容の紹介は別の機会にしたいと思います。

今回の倫理審議会は2020年に開かれた、「着床前診断(PGT-M)に関する倫理審議会」に続くもので、案内状には「2022年4月に新しい審査体制が開始し、新しい重篤性の定義のもと・・・3年が経過しました。この新しい審査体制を検証すること」が目的である、と書かれています。

PGT-Mとは「重篤な遺伝性疾患児を出産する可能性のある、遺伝子変異ならびに染色体異常を保因する」かどうかを、受精卵の段階で行う遺伝子的検査のことです。

この検査の問題点については様々に指摘されています。受精卵の段階で胚を取り出して、遺伝子的問題の有無を調べることは、人間の選別につながるのではないかと。過去に優生学

的見地より、障害を持つ人に不妊手術を強制してきた歴史があるが、それを再び繰り返すのではないかと。重篤な遺伝的疾患という名のもとになされる検査ではあるが、現に重い疾患や心身の障害を持ちつつ喜びのうちに生活をしている人々に「重篤な疾患」というマイナスイメージによって、喜びを奪ってしまうのではないかと、等々。

キリスト者は人の命の尊厳について、神の前で慎重に、「これらの最も小さくされている存在」に敬意を抱いて、行動し、発言する必要があると感じた一日でした。

献金者名

(敬称略)

■団体
在日大韓基督神戸教会・神戸国際キリスト教会・日本基督教団 神戸栄光教会・神戸聖愛教会・姫路教会

■個人
石原等・井上恵津子・小島桂世子・谷内 豊・日垣数子・沼田静子・パウロ野村・廣田君代・三宅敬・守屋健二・安井修二・山田秀穂・山鳥あかね

■助成金
日本基督教団 兵庫教区伝道部各種伝道委員会・播州地区障がい者に関わる委員会

正会員会費 32名

(氏名は省略させていただきます。)

ありがとうございました。

編集後記

コロナ禍は収束しましたが、戦争があちこちで勃発しています。平和な世界が一日も早く訪れることを祈ります。

新しい人達が共励会の活動に参加していただくために、共励会のパンフレットを作成しました。また、現在ホームページを作成中で、8月には完成予定です。会の継続のために、励まし合い、力を合わせて行きましょう。

(T)